



コロナをきっかけとし、本格的にいちご加工へ進出

平成25年に創業し、大分市や由布市の事業所を顧客に、慰安旅行や研修旅行など取次をしております。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上は激減し、JAL・ANA・JRの大手交通会社も自社旅行パックの商品開発を休止・廃止する状態となり、既存事業だけでは、経営が成り立たない状況に追い込まれました。

ちょうどその頃、同居する次男がいちご農園を営んでいたことから、いちごを利用した加工品ができないかと事業化に向けて取り組むこととしました。

そこで、いちごの加工製造をするにあたり、どのように商品製造をするのか、どのような機材調達が必要であるのかなどを解決するために、商工会に相談させていただき、事業展開についての計画を策定することとなりました。



いちご農園で栽培されたいちご

専門家派遣を活用し、事業計画の作成および補助金活用

商工会の「専門家派遣制度」を利用し、専門家（中小企業診断士）に来ていただき事業計画策定を行いました。頭の中で大筋はできていたため、ある程度自分が策定した計画をブラッシュアップしてもらう形となりました。頭の中にあったストーリーを明文化することで、課題や目標が明確になりました。また、計画内の不安要素であった機材導入について、「事業再構築補助金」の採択をうけ、必要な機材の導入をすることができました。

専門家派遣制度とは…

商品開発、デザイン、SNS、会計、税務、事務作業…などなど経営には様々な悩みが付きもの。そんなお悩みに対し、専門的な知識を持った先生があなたの事業所へ出向いてお話を聞き、一緒に解決策を考えます。

大分県の商工会には、現在約280名の、幅広い分野の専門知識を有した先生が登録されています。

事業再構築補助金とは…

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売り上げの回復が期待しづらい中、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために、新分野展開、事業転換、業種転換、業態転換、又は事業再編という思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援する補助金です。

お困りのことがあれば、まずは商工会職員にお気軽にご相談ください！

新商品開発について

次男のイチゴ農園の廃棄となるいちごに着目し、何か新商品を作りたいと考えていました。調理学校の先生にアドバイスをいただきながら、「ベリーツミルクの素」が完成しました。

希少な日本ミツバチのはちみつと、大分県産カボスを使用し、保存料や添加物を一切使わないこだわりの商品となり、令和5年12月に経営革新計画の承認を受けることができました。

新商品 ベリーツミルクの素 「つぶ」・「さら」

「つぶ」…いちごのつぶつぶ感を残しつつ加工

「さら」…いちごをしっかりとすりつぶし

濃厚だけど飲みやすい



経営革新計画とは

「新たな事業活動」を行うことにより、「経営を相当程度向上させること」と法律で定められています。経営革新を図るための3～8年間の経営計画（ビジネスプラン）のことを「経営革新計画」といいます。法律に基づき、中小企業・小規模事業者（以下「特定事業者」）が作成した経営革新計画を大分県が承認するものです。大分県制度資金の低利融資や販路開拓の補助金などの各種支援策によって、承認された経営革新計画の実行を支援するものです。

FOOD STYLE Kyushu 2023に出展し、 新規取引先の開拓

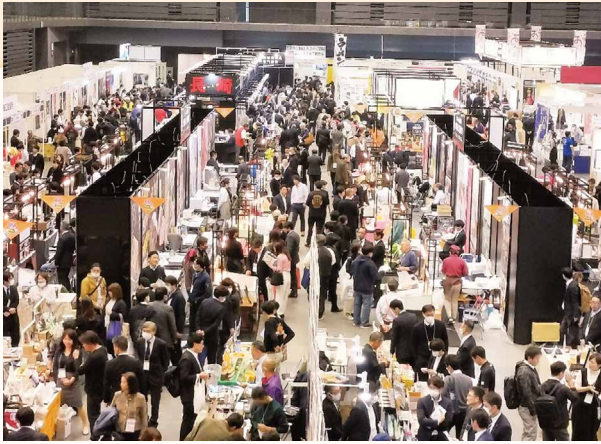
商工会の十時指導員からご紹介をいただき、大分県商工会連合会が主催する「販路開拓支援事業」に参加させていただきました。

やはりここでも事業計画をもとに、改めて新商品の販路開拓に係る課題や解決策、最終的な目標を決定し、全3回の研修会にて展示会出展に係る知識を身に付けることができました。

さらに FOOD STYLE Kyushu 2023 に出展し、多くのバイヤーと名刺交換、商談ができました。今後、成約につなげることで売上増加をめざします。



展示会にて、バイヤーに説明をする那須氏



FOOD STYLE Kyushu 2023会期中の様子

販路開拓支援事業とは

商工会地域では、地域性あふれる魅力の高い商品を有しているものの、十分に販路開拓を行えない事業所が多いため、県連が県下17商工会と連携し、実施している事業。商工会ごとに、事業者が定めた目標(定性・定量)に向けて、年間を通して、新商品の開発や既存商品ブラッシュアップから販路開拓まで一気通貫で取り組むなかで、「FOOD STYLE Kyushu 2023」に出展した。

今後の展望

はなえみグループとして、地域に根付いた経営を行い、旅行業といちごの加工品両輪で頑張っていきたいです。

商工会にお世話になり、事業計画を作成することができましたので、見直しなどを行っていきながら、少しずつ目標を達成し成長していきたいと思います。



担当商工会

由布市商工会

由布市商工会は、平成25年7月1日に旧3町（挾間・庄内・湯布院）の商工会が合併し、設立しました。

地域の特性や経済事情を背景として、地域唯一の「地域総合経済団体」、中小企業の「支援機関」としての役割を十分に踏まえ、一貫して商工業の総合的な経営改善普及事業を通じ、地域社会の発展と福祉の増進に貢献しています。

今回は同商工会地域で「はなえみ工房」を営む那須茂康さんからお話を伺いました。



由布市商工会